



## ネットの恐ろしさ

代表 大森正子

2018年11月8日、「成年後見制度のあくどい被害実態 職業後見人は何もしなくても時給 72 万円！」とのセンセーショナルな見出しで、週刊女性 PRIME の記事が複数のサイトから一斉に配信されました。

記事では、成年後見制度は 2000 年に介護保険と同時に創設されたが利用者が増えない、その最大の原因は「職業後見人（弁護士、司法書士、社会福祉士など）が、本人や家族の意思を無視することです」と。そして「私が話を聞いた家族たちは、一人の例外もなく、皆、こう嘆いていました。『弁護士や司法書士後見人は・・・共感がまるでない。彼らは・・・何もしない。それなのに・・・年間数十万円もの、少なくない報酬を取っていく』」と。

確かに成年後見制度は財産保護に重きがおかれ、福祉より法律の分野の制度でしょう。しかしこの制度に見守られ安心して生活している人々は数多くいます。それらの方々の話は全く出てきません。

本の宣伝か？ この記事の途中に、この記事を書いているフリージャーナリストの本の紹介があり、Amazon のページにジャンプする仕掛けになっていました。自分の本を売らんがための記事だったのか。!?



## 「柳瀬川の歴史と魅力」お話しを終えて

第 12 回先生 宮澤とよ美 氏

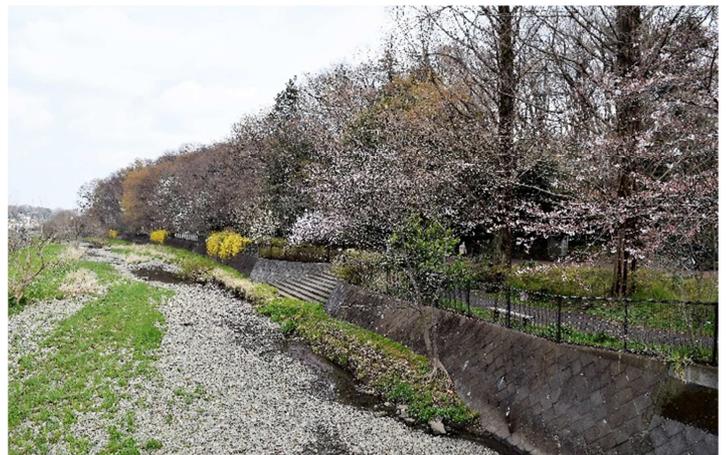
清瀬の川についてお話をさせて頂く機会を頂きありがとうございます。多くの方にご参加を頂き、清瀬の川にご興味をお持ちの方が多く嬉しく思いました。

先ず、人の心をひきつけてやまない川とはどんな川でしょう。それは人それぞれだと思いますが、どなたにも共通のいい川は清澄な水と緑、そして多種の生き物に出会える川だと思います。

昭和 30 年代、私は清瀬の河川が林の緑を写し、農地の間を美しく蛇行していた頃を見つめる事が出来ました。その後は毎日どこかの雑木林が消え、新しい家が立ち並びます。そこから出る家庭の排水は空堀川・柳

瀬川へと向かいます。日毎に河川の水は汚濁、匂いと泡立ちの川となり、耕作できない田んぼが大きな団地へと変わってゆきました。フナもドジョウも棲むことも出来ず、人々から見向きもされないその期間は長く、昭和 56 年に清瀬水再生センターが稼働を始め、河川が下水道の役割を終えると、平成 7 年初めて空堀川の淵で陽の光を受けキラッと輝いた小魚の印象は強烈なものでした。

川のフェンスには「近よるな危険」の看板が長く取り付けてありました。水が澄んでくると子供たちはフェンスを乗り越え川遊びに夢中になります。当会は平成 15 年の市議会に「梅坂橋下流右岸に親水階段設置」の要望をし、16 年完成。河床内には四季を通して子供たちの姿が見られます。柳瀬川から遡上のアユ等小魚やモクズガニが棲み、環境学習の教材に事欠きません。



(清瀬の十景、梅坂橋から下流を見る)

生き物の多様性は流水あってこそその事、空堀川に水量確保の活動は平成 11 年から現在に続きます。水が流れていることが当たり前の空堀川を夢見ています。一方近年の豪雨は予測がつかず、各地に大きな災害を起こし、治水対策の改修が進みます。私たちは安全な川とともに清瀬の環境に合ったたれもが憩える川づくりをと河川管理者に技術力を求めます。

コミュニティふれあいネット様から折角いただきましたご縁、どうぞ一緒に生き物調査、水質調査、河川清掃等ご参加をお待ち申し上げます。

COFUNE は、Community FUREAI Net の短縮形で『こふね』と呼びます。『私も先生!』プロジェクトで報告された資料は、COFUNE のホームページに全て掲載しておりますので、ご覧になってください。



【予告】私も先生！ 第13弾

# 清瀬に広がる 子ども食堂

先生：福本麻紀 おひさまネットワーク  
丸山 隆 あけぼの子ども食堂  
西田由美子 子どもの居場所

会場：清瀬けやきホール, 1F セミナール

日時：1月26日(土)  
14:00~16:00



60歳からの  
筋力と脳力の若返りに！



# ふまねっと運動



毎月第2火曜日、市内地域市民センター

毎月第3金曜日、竹丘地域市民センター

14:00~16:00

※場所等の詳細は各地域市民センターに置いてあるチラシ・市報をご覧ください。  
参加者は、10/19竹丘での開催で、延べ1378人に達しました。

## 市民の健康を守る会 in 清瀬



「子どもをタバコの害から守ろう！」

**社大祭**  
10/27(土) 28(SUN)

受動喫煙 ~支援者として考える~  
講師：公益財団法人結核予防会 複十字病院  
慢性呼吸器疾患看護認定看護師 山中明美氏

10月27日(土) 13:30~15:00

2018年10月27日(土)、清瀬市竹丘にある日本社会事業大学の学園祭(社大祭)で学祭実行委員会と市民の健康を守る会の協働企画で、講演会とポスターによる展示発表を行いました。講演はスライド

の他、肺胞や血管を模した風船や紙筒も使い、さらに学生さんにCOPDの方の呼吸体験もしてもらい、とても分かりやすい講演でした。新型タバコと受動喫煙等最新のテーマでは質疑応答が活発になされました。アンケートでは、現喫煙者という方から「タバコの害の理解につながった」との感想がありました。ポスターの説明時、フロアから医師という方が「最初の一本を吸わない」教育の重要性を訴えました。本会も全く同じ考えです！ <謝辞>この講演会に、清瀬市、清瀬市教育委員会、清瀬市医師会から後援をいただきました。

### 抜歯跡舌がチョロチョロして探る カレン

<勝手な講評>

抜歯後スースー空気が抜ける感じ・・・どうなっているのか鏡を見るのも怖くて・・・つつい舌で触ってしまう自分がそこに。



ふれあいど〜り松山サロン  
毎月第1土曜日  
松山老人憩いの家  
11:00~14:30

「ふれあいネット MATSUYAMA」カラー版を差し上げます。

事務局：コミュニティふれあいネット(COFUNE) 大森正子  
〒204-0021 清瀬市元町1-8-20 エスタ清瀬 403  
Tel: 090-6009-4474 Mail: cofune\_kiyose@yahoo.co.jp

URL: <http://cofune.net>

**会員募集**  
COFUNE活動に賛同して  
いただける方、連絡を！  
会費無料

